

アルファテック342LV

アルファテック342LVは、水中での接着性に優れた、速硬化性のエポキシ接着剤です。乾燥面はもとより、濡れたコンクリートと鋼材に対しても、高い接着性能を発揮します。さらに、低温の環境下でも、高い流動性と速硬化性を併せ持っているため、施工性にも優れています。そのため、寒冷期に短時間での施工を要求される道路橋コンクリート床版の注入補修などに最適です。



特許登録番号: 5588241号(増厚床版の剥離部補修並びに床版コンクリートのひび割れ補修工法)

特長

- 圧縮、曲げ、引張に対して、高い強度を発揮します。
- 繰り返し荷重や熱ショックに対して、優れた耐久性能を発揮します。
- 低温の環境下でも流動性が高く、ポンプ注入作業の施工性に優れています。
- 乾燥面はもとより、濡れたコンクリートや鋼材にも、高い接着性能を発揮します。
- 強度の発現がきわめて速いので、施工時間を大幅に短縮できます。
- 気候、真水や海水、油、化学薬品などの影響に対して、優れた耐久性能を発揮します。

用途

- コンクリート増厚床版の浮き部への注入補修
- 気中や水中における、コンクリート構造物のひび割れなどの注入補修
- 乾燥および湿潤したコンクリートの速硬接着プライマー

テクニカルデータ

未硬化物の性状(23℃)		
アルファテック342LV		
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	無色	橙色
外観(混合)	淡黄色	
混合比(重量)	2	1
粘度	500±200mPa·s	
比重	1.10±0.05	
可使時間(1Lスケール)	15分	
指触乾燥時間	2時間	

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	物性値
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS A 6024	23°C × 1日 (気中)	60
		23°C × 3日 (気中)	70
		23°C × 7日 (気中)	80
		23°C × 1日 (水中)	40
		23°C × 3日 (水中)	65
		23°C × 7日 (水中)	70
圧縮弾性率 (N/mm ²)	JIS K 7181	23°C × 1日 (気中)	1300
		23°C × 3日 (気中)	1700
		23°C × 7日 (気中)	2000
		23°C × 1日 (水中)	800
		23°C × 3日 (水中)	1200
		23°C × 7日 (水中)	1500
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS K 7171	23°C × 7日	60
引張強さ (N/mm ²)	JIS K 7161	23°C × 7日	40
接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS A 6024	23°C × 7日 (気中)	6 MF
		23°C × 7日 (水中)	3 MF
圧縮せん断接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS K 6852	23°C × 7日 (水中)	3 MF
引張せん断接着強さ (N/mm ²) (鋼材相互)	JIS K 6850	23°C × 4時間	1
		23°C × 1日	15
		23°C × 7日	20
衝撃強さ (N-mm/mm ²)	JIS K 7111	23°C × 7日	2
硬 度 (ショア-D)	JIS K 7215	23°C × 7日	80

※MF:セメントモルタル破壊

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

使用方法

- ①下地処理：コンクリートの脆弱部分や付着物、鋼材の錆や塗料・付着物などを除去して下さい。
- ②樹脂混合：主剤と硬化剤を重量比2：1で必要量取り分け、ミキサーで均一になるまで1～2分混合して下さい。
 ・推奨樹脂ミキサー：HIKOKI変速ドリル(D10VH12/0～2600rpm)・ミキサーブレード(Φ80mm)、混合は500～1000rpmで行って下さい。
 ◇過度な攪拌による気泡混入に注意して下さい。
 ◇小分けする場合は混合比を厳守して下さい。
- ③樹脂除去：器具などに付着した樹脂は硬化する前にアセトンやシンナーなどで除去して下さい。
 硬化樹脂はパーナーで軽く炙り除去して下さい。

【施工時の温度目安：S(夏用)15°C以上、W(冬用)5°C～20°C】

容器形態

【10kg / 9L セット】

主 剤 6.7kg (角缶)
 硬化剤 3.3kg (角缶) ※300kgセットもあります。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願い致します。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
 URL: <https://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
 1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
 神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
 6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN